

一般財団法人みやぎ産業交流センター定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、一般財団法人みやぎ産業交流センターと称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を宮城県仙台市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の開催及び支援等に関する事業を行うことにより、宮城県の産業振興、地域経済の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 見本市、展示会、会議、イベント、大会等の誘致
- (2) 見本市、展示会、会議、イベント、大会等の開催
- (3) 見本市、展示会、会議、イベント、大会等の開催支援
- (4) 見本市、展示会等への出展支援
- (5) 展示施設等の管理運営
- (6) 展示施設等の効用増進
- (7) 展示会活用推進
- (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

第3章 資産及び会計

(財産の種類と構成)

第5条 この法人の財産は、基本財産及び基本財産以外のその他の財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産で、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 財団法人みやぎ産業交流センター設立時の出損金 1,779,000,000 円
- (2) 基本財産とすることを指定して寄付された財産
- (3) 理事会において基本財産に繰り入れることを決議した財産

(基本財産の維持及び処分)

第6条 基本財産は、評議員会において別に定めるところにより、善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

2 やむを得ない理由により基本財産を処分又は基本財産から除外しようとするときは、理事会において、理事現在数の4分の3以上の承認を得なければならない。

(事業年度)

第7条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

- 第8条 この法人の事業計画書、収支予算書については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経なければならない。ただし、やむを得ない事情があるため、その決議を経ることができない場合には、その事業年度開始の日から3箇月以内に理事会の決議を経るものとする。
- 2 前項ただし書の場合にあつては、理事長は、理事会の決議を経るまでの間は、前事業年度の予算に準じて収入及び支出をすることができる。
 - 3 前項の規定による収入及び支出は、新たに成立した予算の収入及び支出とみなす。
 - 4 理事長は、第1項の事業計画又は予算を変更しようとするときは、理事会の決議を経なければならない。ただし、軽微な変更については、この限りでない。
 - 5 第1項の書類については、主たる事務所に当該事業年度が終了するまでの間備え置くものとする。

(事業報告及び決算)

- 第9条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。
- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 正味財産増減計算書
 - (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号及び第4号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、監査報告を主たる事務所に5年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置くものとする。

第4章 評議員

(評議員)

第10条 この法人に評議員3名以上10名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）第179条から第195条の規定に従い、評議員会において行う。

(評議員の任期)

- 第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
 - 3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員に対する報酬等)

第13条 評議員は、無報酬とする。

第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事の報酬等の額
- (3) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (4) 定款の変更
- (5) 残余財産の処分
- (6) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。
2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第18条 評議員会の議長は、会議の都度、出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第19条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第21条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第20条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議事録には、議長及び出席した評議員の中から選任された議事録署名人2名が記名押印しなければならない。

第6章 役員

(役員の設定)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 3名以上12名以内
- (2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を理事長とし、1名を常務理事とする。

3 前項の理事長をもって、法人法上の代表理事とし、代表理事以外の理事のうち、常務理事をもって第197条において準用する第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第22条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

3 理事のうち、理事のいずれか1名とその配偶者又は3親等内の親族その他特別の関係にある者の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。

(理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を執行する。

3 理事長及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第26条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第 27 条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事に対しては、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

第 7 章 理事会

(構成)

第 28 条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第 29 条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び常務理事の選定及び解職

(開催)

第 30 条 理事会は、毎事業年度開始前及び事業年度終了後 3 箇月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第 31 条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第 32 条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、他の理事がこれに当たる。

(決議)

第 33 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、法人法第 197 条において準用する同法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 34 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印しなければならない。

第 8 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 35 条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

- 2 前項の規定は、この定款の第 3 条、第 4 条及び第 11 条についても適用する。

(解散)

第 36 条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(剰余金の分配の制限)

第 37 条 この法人は、剰余金の分配を行うことができない。

(残余財産の帰属)

第 38 条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第 9 章 公告の方法

(公告の方法)

第 39 条 この法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第 10 章 雑則

(委任)

第 40 条 この定款の施行について必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て別に定める。

(事務局)

第 41 条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長及び重要な職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する。
- 4 前項以外の職員は理事長が任免する。
- 5 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て別に定める。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 121 条第 1 項において読み替えて準用する同法第 106 条第 1 項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 121 条第 1 項において読み替えて準用する同法第 106 条第 1 項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行ったときは、第 7 条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の最初の理事長は伊東則夫とする。

一般財団法人みやぎ産業交流センター 評議員・役員名簿

令和5年6月14日現在
(注:所属団体・役職は、令和5年6月29日現在の役職名)

	役職	氏名	所属団体・役職	備考
1	評議員	梶村 和秀	宮城県経済商工観光部長	
2	評議員	柳津 英敬	仙台市経済局長	
3	評議員	山本 俊二	宮城県商工会議所連合会 副会長	
4	評議員	神谷 統	宮城県市長会 事務局長	
5	評議員	小野寺芳一	株式会社七十七銀行 専務取締役	
6	評議員	鈴木 隆	株式会社仙台銀行 代表取締役頭取	
7	評議員	工藤 英明	東北電力株式会社 執行役員宮城支店長	
8	評議員	小野 和宏	宮城県町村会 理事兼事務局長	

	役職	氏名	所属団体・役職	備考
1	理事長	千葉 隆政	一般財団法人みやぎ産業交流センター 理事長	
2	常務理事	布田 秀一	一般財団法人みやぎ産業交流センター 常務理事兼事務局長	
3	理事	菅井 和宏	同和興業株式会社 代表取締役社長	
4	理事	一力 敦彦	東北放送株式会社 代表取締役社長	
5	理事	稲木 甲二	株式会社仙台放送 代表取締役社長	
6	理事	今野 俊宏	株式会社河北新報社 常務取締役事業担当	
7	理事	長沼 博	株式会社ユアテック 常務執行役員宮城支社長	
8	理事	青沼 廣利	一般社団法人みやぎ工業会 専務理事	
9	理事	佐藤 健二	宮城県経済商工観光部 副部長	
10	理事	白岩 靖史	仙台市経済局 イノベーション推進部長	
1	監事	半沢 章	宮城県中小企業団体中央会 専務理事	
2	監事	稲妻 敏行	宮城県商工会連合会 専務理事	

令和4年度 事業報告書

令和4年度事業報告

I 総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続きましたが、ワクチン接種の進展、新たな変異株の出現による重症度の低下等を踏まえて、国は感染拡大の防止と社会経済活動の回復とを両立させることを目指し、社会全体として社会生活に課せられた様々な制約を段階的に緩和する方向で歩みが進められました。

当財団の基幹事業である夢メッセみやぎの運営では、年度前半は開催件数が順調に推移し、年度全体の催事開催件数は248件（前年度161件）と前年度の約1.5倍に増加しましたが、夏の第7波、冬の第8波の影響を受けて、コロナ禍前の稼働状況までの回復には至らず、燃料費の高騰等も相まって、前年度よりも更に厳しい運営状況となりました。

こうした中、国・県の感染拡大防止対策の動向に応じて、夢メッセみやぎの新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインを見直すとともに、西館会議室の換気設備の改修を行うなど、必要な感染拡大防止対策の徹底を図りました。また、ホームページに施設紹介動画及び会場利用料金シミュレーションページを追加したほか、本館展示棟コンコースに移動式授乳室を設置するなど、主催者にも来場者にも利便性が高く、安全に安心してご利用いただけるようサービスの向上に努めました。

さらに、地域との連携については、「仙台港エリア振興会」の事務局として仙台港エリア内の店舗及び事業所との情報共有を図るとともに、「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」のメンバーとしてエリア内の賑わい創出や活気溢れるまちづくりに参画しました。

II 実施事業

1 展示会等の開催、支援、誘致

(1) 展示会等の開催事業

- ① 全国やきものフェア in みやぎ 2022（共催 7月14日～18日 入場者数 24,060人）
- ② みやぎ超!!元気まつり（新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止）
- ③ ビジネスマッチ東北 2022 秋（実行委員会参加 11月10日 入場者数 4,352人）
負担金 2,000,000円（税込）

(2) 展示会等の開催支援事業

- ① 花と緑のココロマルシェ（4月22日～24日 入場者数 8,000人）
- ② J Aグループ宮城営農支援フェスタ 2022（11月17日～18日 入場者数 1,570人）
開催支援金 600,000円（税込）
- ③ 小規模国際学術会議等開催支援（申請実績なし）
（公財）仙台観光国際協会と連携し、将来の大規模開催に繋がる小規模国際学術会議開催への支援。

支援対象 夢メッセ西館又は仙台市内のその他の施設で開催される100人未満の国際学術会議

(3) 展示会等の誘致活動事業

- ① 県からの要請に基づき開催制限を遵守して開催するイベントに対する施設利用料の減免（減免率50%、減免件数18件）
- ② 南東北3県の展示施設間での情報交換（3月14日 情報交換会開催）
- ③ 仙台市内のコンベンション施設関係者との定期的な情報交換
(3月14日 情報交換会出席)
- ④ 「名古屋吹上ホール」との相互利用割引制度による誘致（適用件数2件）
- ⑤ SENDAI Communication Fair in 仙台国際センターへ出展（2月7日）

2 展示会等出展支援事業

国際見本市その他の見本市，展示会等への出展支援として「みやぎ優れMONO」認定製品の出展に対する助成

支援対象 宮城県の実施する「優れ MONO 認定事業」の認定を受けた工業製品

支援件数 3件

支援総額 440,460 円（税込）

みやぎ優れ MONO 発信事業実行委員会負担金 700,000 円（税込）

3 展示会活用促進事業

(1) 見本市，展示会に関する講演会・セミナー等の開催

第13回夢メッセみやぎ講演会の開催（3月6日 参加者51人）

演題：『出展満足度を高める「展示会デザイン」5つのポイント』

講師：SUPER PENGUIN 株式会社 代表取締役 竹村 尚久 氏

会場：夢メッセみやぎ本館 会議棟 大ホール

(2) M I C E 関連見本市等を通じての情報収集

(3) 全国展示場連絡協議会，（一社）日本展示会協会への参加

全国展示場連絡協議会 令和4年度総会を本県で開催（5月19日）

4 展示施設等効用増進事業

利用者の利便性を高め，施設を安全に安心して使用できるよう，換気能力向上のための設備の改修を行いました。

(1) 西館会議室（大・中・小）換気設備の改修

III その他事業

1 展示施設等管理運営事業

(1) 夢メッセみやぎ管理運営事業

宮城県との「みやぎ産業交流センターの管理運営に関する基本協定書（平成31年4月1日～令和6年3月31日）」に基づき，「夢メッセみやぎ管理運営共同事業体」の代表団体として，新型コロナウイルス感染症対策への適切な対応及び利用者・来場者サービスの向上を図るとともに，施設の良好な維持管理・運営に努めました。

催事の開催件数実績

	令和3年度			令和4年度		
	4-9月	10-3月	通年	4-9月	10-3月	通年
予約件数	119	132	251	125	145	270
開催件数	70	91	161	109	139	248
	59%	69%	64%	87%	96%	92%
中止件数	49	41	90	16	6	22
	41%	31%	36%	13%	4%	8%

① 新型コロナウイルス感染症への対応

イ 取消料の免除

県からの要請に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を事由にした開催中止に係る取消料については免除しました。(全中止件数 22 件のうち 7 件)

ロ 使用料の減免

県からの要請に基づき、開催制限を遵守して開催するイベントについては使用料を減免しました。(減免率 50%, 減免件数 18 件)

ハ 施設利用に当たっての対策・対応

夢メッセみやぎとして独自に策定している「夢メッセみやぎ利用に際しての新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン」について、県の感染症防止対策が改訂される都度見直しを行い、ホームページ等により公表するとともに、催事毎に主催者に感染拡大防止対策の詳細計画を確認し、そのための機器を活用することにより感染症対策の徹底を図りました。

ニ 感染拡大防止対策機器等の整備・活用

西館会議室(大・中・小)は換気量不足の観点から最大収容人数(定員)を制限していましたが、各会議室の換気能力を向上させることにより最大収容人数を増加させ、利用者の利便性向上を図り、施設を安全に安心して使用できるように換気設備の改修を行いました。

タブレット型サーマルカメラ、アクリル板の追加導入、西館会場内に二酸化炭素濃度測定器を整備し、AIサーマルカメラを含め、これらの機器の無料貸出を行いました。

※ 取消料の免除、使用料の減免及び感染拡大防止対策機器等の整備については、県からの「みやぎ産業交流センター感染症対応等交付金」を活用し実施しました。

なお、取消料の免除及び使用料の減免に係る支援措置については、令和 4 年 6 月 30 日をもって終了となりました。

(2) 広報・宣伝等事業

広報・宣伝活動として、専門誌による施設紹介等の広報を行いました。また、ホームページに、施設紹介動画及び会場利用料金シミュレーションページを追加し、より一層の利用促進に努めました。

① 機関紙「夢メッセMIYAGI発」発行

② ホームページのリニューアル

施設紹介動画及び会場利用料金シミュレーションページの追加

(3) 地域との連携事業

「仙台港エリア振興会」の事務局として、情報交換会を 2 回開催したほか、エリア内の店舗・事業所と連携し、賑わい創出、情報発信に努めました。

また、仙台港エリアの賑わいづくりを目的に、立地企業や宮城県・仙台市を含めた官民一体の組織として設立された「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」に参画し、賑わいづくりに取り組みました。

(4) その他

お客様の利便性や快適性の向上等の諸課題に的確に対応するため、事務局内に 3 つの組織横断チームを設置し、DX、ユニバーサルデザイン、ユーザーポリシーの各課題解決に取り組みました。具体的には、ホームページへの施設紹介動画及び会場利用料金シミュレーションページの追加、移動式授乳室の設置のほか「夢メッセみやぎ利用に際しての新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン」の更新に取り組み、利用者サービスの一層の向上を図りました。

令和4年度みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）利用状況

【本館 展示棟】

NO.	自	至	催事名	利用 区画	利用 日数	区画 数	入場者数 (人)
1	4/15	4/17	東北マツダ特別展示会	1	3	3	400
2	4/21	4/24	花と緑のココロマルシェ	1	4	4	8,000
3	4/29	5/2	日本海骨董&大蔵ざらえ	1	4	4	2,500
4	5/3	5/7	Detefm仙台エコカーフェスpowered by アベカツ	2	5	10	2,000
5	5/10	5/11	フォーデイズプロダクトエキスポ	3	2	6	2,000
6	5/12	5/15	みちのくミネラルマルシェ	1	4	4	4,000
7	5/15		仙台コミケ	1	1	1	800
8	5/19	5/22	ONWARD SUPER POP-UP STORE in Sendai	3	4	12	12,500
9	5/29	6/3	建設技術公開「EE東北'22」	3	6	18	10,000
10	6/3	6/6	ユノメ家具特別企画 家具インテリア大バザール	1	4	4	1,501
11	6/7	6/9	JAグループ宮城 営農支援フェア2022	2	3	6	1,933
12	6/10	6/11	東北みらい市	2	2	4	1,350
★	13	6/12	みちのくCOMITIA8～創作旅行～	1	1	1	300
14	6/14	6/16	東北ジャパン建材フェア2022	3	3	9	1,500
15	6/17	6/19	第60回仙台伊藤忠ファミリーフェア	2	3	6	8,000
16	6/24	6/25	将棋日本シリーズJTプロ公式戦/テーブルマークこども大会東北大会	2	2	4	724
17	6/26	6/28	国分東北(株)2022年秋冬総合展示商談会	3	3	9	700
18	6/30	7/4	グラブルエクストラフェス2022	3	5	15	6,000
19	7/5	7/6	進路のミカタLIVE・未来ビュー仙台会場	2	2	4	1,800
20	7/8	7/10	2022年セキスイハイムお客様大感謝祭	1	3	3	1,000
21	7/12	7/18	全国やきものフェアinみやぎ2022	3	7	21	24,060
22	7/19	7/23	東北グランドフェア2022	3	5	15	2,681
23	7/29	7/31	東北マツダ特別展示会	1	3	3	400
24	8/12	8/13	デュエル・マスターズ超CSIV	1	2	2	650
25	8/31	9/1	H o n d a 新商品勉強会	1	2	2	450
26	9/2	9/3	第14回夢メッセトータルフェア	2	2	4	2,271
27	9/4		仙台コミケ269 & Sendai I・Doll VOL.12	2	1	2	850
★	28	9/8	9/9 技能グランプリ、生産財セールスマンコンテスト全国大会	2	2	4	250
29	9/12	9/15	CareTEX仙台'22	1	3	3	3,000
30	9/16	9/18	協立 秋の展示商談会	1	3	3	1,200
★	31	9/21	9/23 オートアフターマーケット東北2022	2	3	6	700
32	10/3	10/5	製菓・製パン原材料・機械の総合展示会	1	3	3	845
33	10/7	10/10	東北マツダ特別展示会	1	4	4	800
★	34	10/12	10/16 ワキタジャンボフェア2022in仙台	2	5	10	2,200
35	10/19	10/22	2022東北ウェルディングフェスタ	2	4	8	1,074
36	11/2	11/3	マイナビ仕事研究&インターンシップフェア仙台会場	3	2	6	1,500
★	37	11/4	11/6 MTGカスタマイズフェア2022	1	3	3	2,000
38	11/8	11/10	ビジネスマッチ東北2022秋	3	3	9	4,352
39	11/11	11/13	仙台伊藤忠ファミリーフェア	2	3	6	7,523
40	11/16	11/18	JAグループ宮城営農支援フェスタ2022	2	3	6	1,570
41	11/20		仙台コミケ	1	1	1	900
42	11/25	11/28	ユノメ家具特別企画 家具インテリア大バザール	1	4	4	3,000
★	43	12/1	12/4 EnjoyHonda	3	4	12	13,000
44	12/16	12/18	冬スポ!!WINTER SPORTS FESTA	1	3	3	5,386
★	45	1/7	1/8 ワンピースカードゲームチャンピオンシップ2022予選大会	2	2	4	2,400
46	1/13	1/15	2023年新春初売りセキスイハイムリフォームフェスティバル	1	3	3	1,000
47	1/20	1/22	宮城・仙台住宅リフォームフェア	2	3	6	7,000
48	1/23	1/25	国分東北(株)・KFC(株)東北支社春夏合同展示商談会	3	3	9	700
49	1/28	1/29	第35回介護福祉士国家試験	3	2	6	1,700
50	2/2	2/4	Fate/Grandorderウィンターパーティー2022～2023	2	3	6	3,500

【本館 展示棟】

NO.	自	至	催事名	利用 区画	利用 日数	区画 数	入場者数 (人)
51	2/6	2/7	就活直前フェア仙台会場	3	2	6	1,500
52	2/17	2/19	JU宮城仙台支部 中古車大商談会	2	3	6	3,000
53	2/24	2/27	ユノメ家具特別企画 家具インテリア大バザール	1	4	4	3,000
54	2/24	2/26	バイクフェスタ2023in夢メッセみやぎ	1	3	3	2,000
55	3/3	3/5	第22回伊藤忠ファミリーフェア～仙台Ciss決算感謝祭～	2	3	6	7,700
56	3/10	3/12	東北マツダ特設展示会	1	3	3	400
57	3/17	3/19	東北キャンピングカーショー2023	3	3	9	16,985
58	3/24	3/25	令和5年東北地区春季実践倫理講演会	2	2	4	3,200
59	3/26		仙台コミケ	1	1	1	1,000
-	3/31	4/2	ポケモンカードゲームチャンピオンリーグ2023宮城	3	1	3	-
						346	202,755

※ 「ポケモンカードゲームチャンピオンリーグ2023宮城」は年度を跨ぐ催事につき、件数、入場者数は来年度に計上

★ 新規催事

【西館 展示場】

NO.	自	至	催事名	利用 日数	入場者数 (人)
★ 1	4/13	4/15	K n K実装・組立プロセス技術展	3	165
2	5/29	6/2	建設技術公開「E E 東北'22」	5	-
3	6/15	6/17	2022仙台テクニカルフェア	3	600
4	7/21	7/23	東北グランドフェア2022	3	-
5	7/25	7/29	パナソニック水廻り商品展示会	5	600
★ 6	8/2	8/3	SHARP Business Solution Fair	2	300
7	9/16	9/19	住まいのリフォーム博	4	600
8	10/6		第17回宮城県中古自動車査定士技能コンテスト	1	80
★ 9	10/11		グリーンスローモビリティセミナー	1	200
10	10/21	10/23	パナソニック 秋の大感謝祭	3	350
★ 11	11/18	11/19	Wa!わぁ祭り2022	2	400
12	1/17	1/21	HOUSING SOLUTION FAIR 2022	5	1,000
13	1/28	1/29	第35回介護福祉士国家試験	2	-
★ 14	2/25		BiSH特典会	1	1,200
15	3/14	3/17	くらしソリューションスクエア2022	4	600
16	3/23	3/26	日昭リフォームフェア	4	250
-	3/31	4/2	BMW/MINIの展示会・商談会	1	-
				49	6,345

※「BMW/MINIの展示会・商談会」は年度を跨ぐ催事につき、件数、入場者数は来年度に計上

★ 新規催事

【西館 ホール】

NO.	自	至	催事名	利用 日数	入場者数 (人)
1	4/14	4/15	日産3社合同勉強会	2	100
2	5/10	5/11	フォーデイズ プロダクトエキスポ	2	-
3	5/12	5/15	住まいのリフォーム博	4	400
★ 4	5/25	5/27	2022ワンダーエクステリア展示会	3	313
5	5/31	6/2	建設技術公開「E E 東北'22」	3	-
6	6/16	6/17	日産3社合同勉強会	2	100
7	7/21	7/23	東北グランドフェア2022	3	-
8	7/29		パナソニック水廻り商品展示会	1	-
★ 9	8/12	8/13	リエール多肉フェスティバル	2	300
10	8/26	8/28	ダイクリフォーム展示会	3	200
11	9/8	9/9	技能グランプリ/生産財セールスマンコンテスト全国大会	2	-
12	9/14		日産3社合同勉強会	1	50
13	9/28		日産3社合同勉強会	1	100
14	9/29	10/2	日昭リフォームフェア	4	240
★ 15	10/30		「おはよう」参政党の歩み	1	500
16	11/11	11/15	「今こそ、きものを」東北最大級の呉服展示会	5	150
17	12/1		スズキ自販宮城12月度全体会議	1	159
18	12/4		Japan Dancre's Championship 仙台予選	1	400
19	1/6	1/9	住まいのリフォーム博	4	400
20	1/17	1/21	HOUSING SOLUTION FAIR 2022	5	-
21	2/25		BiSH特典会	1	-
22	2/26	2/27	東北地区販売会社新型デリカミニ地区別研修会	2	215
23	3/17	3/21	住まいるフェスタin宮城	5	400
				58	4,027

★ 新規催事

◇施設利用件数

(単位:件)

区分	令和3年度	令和4年度
本館展示場	33	59
本館大ホール	62	92
本館会議室	3	15
本館屋外展示場	6	18
西館展示場	9	16
西館ホール	18	23
西館会議室	58	97
西館研修室	0	5
計	189	325

◇稼働率

[本館 展示場]

	令和3年度		令和4年度	
	日数	面積(区画)	日数	面積(区画)
利用 (①)	100	182	176	346
有効 (②)	359	1,077	359	1,077
稼働率 (①÷②×%)	27.8%	16.8%	49.0%	32.1%

[西館 展示場]

	令和3年度	令和4年度
	日数	日数
利用 (①)	29	49
有効 (②)	359	359
稼働率 (①÷②×%)	8.0%	13.6%

[西館 ホール]

	令和3年度	令和4年度
	日数	日数
利用 (①)	58	58
有効 (②)	359	359
稼働率 (①÷②×%)	16.1%	16.1%

令和4年度 決算報告書

- ・ 貸借対照表
- ・ 正味財産増減計算書
- ・ 正味財産増減計算書 内訳表
- ・ 財務諸表に対する注記
- ・ 附属明細書
- ・ 財産目録

貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	45,484	287,634	△ 242,150
預金	173,645,641	200,155,746	△ 26,510,105
未収利息	1,954,150	1,928,190	25,960
未収金	10,194,280	4,846,438	5,347,842
前払金	0	16,600	△ 16,600
立替金	519,162	311,019	208,143
前払費用	1,216,010	1,534,788	△ 318,778
未収消費税等	955,200	0	955,200
流動資産合計	188,529,927	209,080,415	△ 20,550,488
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	259,345,594	161,601,163	97,744,431
投資有価証券	1,519,654,406	1,617,398,837	△ 97,744,431
基本財産合計	1,779,000,000	1,779,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	7,042,000	5,987,000	1,055,000
減価償却引当資産	91,496,959	91,496,959	0
施設補修積立資産	167,345,500	167,345,500	0
特定資産合計	265,884,459	264,829,459	1,055,000
(3) その他固定資産			
投資有価証券	132,263,986	138,065,867	△ 5,801,881
定期預金	1,680	3,316	△ 1,636
建物付属設備	3,958,183	4,440,422	△ 482,239
構築物	659,987	716,063	△ 56,076
車両運搬具	286,921	599,921	△ 313,000
什器備品	8,944,332	8,838,641	105,691
ソフトウェア	244,067	476,947	△ 232,880
貸倒引当金	△ 291,037	0	△ 291,037
その他固定資産合計	146,068,119	153,141,177	△ 7,073,058
固定資産合計	2,190,952,578	2,196,970,636	△ 6,018,058
資産合計	2,379,482,505	2,406,051,051	△ 26,568,546
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	24,882,397	29,735,631	△ 4,853,234
前受金	51,140,759	4,261,302	46,879,457
預り金	918,782	1,253,649	△ 334,867
賞与引当金	4,244,256	0	4,244,256
未払法人税等	10,399,400	10,399,400	0
未払消費税等	0	1,467,500	△ 1,467,500
流動負債合計	91,585,594	47,117,482	44,468,112
2. 固定負債			
退職給付引当金	7,042,000	5,987,000	1,055,000
固定負債合計	7,042,000	5,987,000	1,055,000
負債合計	98,627,594	53,104,482	45,523,112
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	1,779,000,000	1,779,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(1,779,000,000)	(1,779,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(265,884,459)	(264,829,459)	(1,055,000)
正味財産合計	2,280,854,911	2,352,946,569	△ 72,091,658
負債及び正味財産合計	2,379,482,505	2,406,051,051	△ 26,568,546

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	10,893,759	11,714,813	△ 821,054
基本財産運用益	10,890,339	11,714,135	△ 823,796
基本財産受取利息	3,420	678	2,742
②特定資産運用益	36,746	36,746	0
特定資産運用益	35,000	35,000	0
特定資産受取利息	1,746	1,746	0
③事業収益	301,708,156	136,087,300	165,620,856
施設利用料収益	298,743,157	134,033,288	164,709,869
展示会開催事業収益	1,080,324	829,346	250,978
自販機等利用料収益	1,884,675	1,224,666	660,009
④受取補助金等	24,327,140	219,151,377	△ 194,824,237
受取地方公共団体補助金	23,386,500	219,151,377	△ 195,764,877
受取民間補助金	940,640	0	940,640
⑤雑収益	2,642,320	2,441,552	200,768
受取利息	88	0	88
有価証券運用益	935,562	903,725	31,837
雑収益	1,706,670	1,537,827	168,843
経常収益計	339,608,121	369,431,788	△ 29,823,667
(2) 経常費用			
①事業費	395,588,552	370,860,521	24,728,031
展示会開催費	10,351,507	4,965,734	5,385,773
展示会開催支援費	1,454,546	545,455	909,091
展示会出展助成費	1,036,783	909,092	127,691
委託管理費	102,998,600	102,998,600	0
維持管理費	39,608,300	40,863,300	△ 1,255,000
施設補修費	2,296,624	1,548,640	747,984
水道光熱費	72,268,186	46,510,755	25,757,431
備品購入費	0	1,474,380	△ 1,474,380
管理運営消耗品費	2,711,473	5,058,110	△ 2,346,637
行政財産目的外使用料	1,908,728	1,875,391	33,337
納付金	51,851,853	51,851,852	1
固定資産等寄附額	3,770,000	0	3,770,000
減価償却費	3,727,504	4,541,140	△ 813,636
広告宣伝費	3,450,532	5,428,000	△ 1,977,468
役員報酬	5,180,633	6,492,971	△ 1,312,338
給料手当	51,339,567	50,241,340	1,098,227
法定福利費	10,056,692	8,599,135	1,457,557
退職金掛金	2,072,000	1,324,000	748,000
退職給付費用	1,055,000	933,000	122,000
福利厚生費	2,160,654	1,130,259	1,030,395
諸謝金	150,000	0	150,000
会議費	38,587	0	38,587
旅費交通費	365,721	83,658	282,063
通信運搬費	1,906,652	1,234,830	671,822
新聞図書費	166,020	166,891	△ 871
印刷費	304,000	231,630	72,370
関係団体諸会費	306,955	384,499	△ 77,544
寄附金	119,697	157,274	△ 37,577
交際費	311,826	403,617	△ 91,791
修繕費	343,773	289,491	54,282
事務用消耗品費	982,555	1,115,830	△ 133,275

科目	当年度	前年度	増減
使用料及び賃借料	2,272,189	758,937	1,513,252
保険料	77,370	203,045	△ 125,675
租税公課	2,232,727	16,548,734	△ 14,316,007
委託費	960,000	1,001,000	△ 41,000
支払手数料	62,680	66,850	△ 4,170
負担金	64,548	20,000	44,548
研修費	39,091	73,855	△ 34,764
保守料	707,286	501,826	205,460
雑費	15,000	0	15,000
貸倒引当金繰入額	291,037	0	291,037
事業所税	10,327,400	10,327,400	0
賞与引当金繰入額	4,244,256	0	4,244,256
②管理費	13,959,227	14,224,303	△ 265,076
役員報酬	7,722,110	7,716,382	5,728
給料手当	2,508,119	2,468,131	39,988
法定福利費	1,579,410	1,591,809	△ 12,399
福利厚生費	46,628	60,122	△ 13,494
会議費	215,050	130,000	85,050
旅費交通費	183,134	125,500	57,634
通信運搬費	909	822	87
新聞図書費	5,649	5,511	138
印刷費	0	52,200	△ 52,200
関係団体諸会費	300,728	245,300	55,428
寄附金	10,000	0	10,000
事務用消耗品費	850	1,137	△ 287
使用料及び賃借料	11,000	47,500	△ 36,500
租税公課	13,000	12,400	600
委託費	281,200	99,000	182,200
支払手数料	8,400	4,500	3,900
負担金	2,728	0	2,728
研修費	0	141,880	△ 141,880
投資有価証券償却	1,070,312	1,522,109	△ 451,797
経常費用計	409,547,779	385,084,824	24,462,955
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 69,939,658	△ 15,653,036	△ 54,286,622
投資有価証券評価損益等	△ 2,080,000	△ 439,850	△ 1,640,150
投資有価証券評価損益等	△ 2,080,000	△ 439,850	△ 1,640,150
評価損益等計	△ 2,080,000	△ 439,850	△ 1,640,150
当期経常増減額	△ 72,019,658	△ 16,092,886	△ 55,926,772
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 72,019,658	△ 16,092,886	△ 55,926,772
法人税・住民税及び事業税	72,000	152,100	△ 80,100
当期一般正味財産増減額	△ 72,091,658	△ 16,244,986	△ 55,846,672
一般正味財産期首残高	573,946,569	590,191,555	△ 16,244,986
一般正味財産期末残高	501,854,911	573,946,569	△ 72,091,658
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,779,000,000	1,779,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,779,000,000	1,779,000,000	0
III 正味財産期末残高	2,280,854,911	2,352,946,569	△ 72,091,658

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

Table with columns for 科目 (Item), 実施事業会計 (Implementation Business Accounting), 其他会計 (Other Accounting), 法人会計 (Corporate Accounting), and 合計 (Total). Rows include categories like 一般正味財産増減の部 (General Net Asset Increase/Decrease), 経常増減の部 (Regular Increase/Decrease), and 経常外増減の部 (Extraordinary Increase/Decrease).

3. 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券については、償却原価法を採用している。その他有価証券は期末時価により評価している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に定める耐用年数を用いて、定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、期末要支給額を充足するよう引当計上している。

・賞与引当金

職員に対する賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を引当計上している。

・貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	0	359,508,799	359,508,799	0
定期預金	161,601,163	259,741,594	161,997,163	259,345,594
投資有価証券	1,617,398,837	177,779,705	275,524,136	1,519,654,406
小計	1,779,000,000	797,030,098	797,030,098	1,779,000,000
特定資産				
退職給付引当資産				
普通預金	5,987,000	1,055,000	0	7,042,000
減価償却引当資産				
普通預金	21,496,959	0	0	21,496,959
定期預金	70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000
施設補修積立資産				
普通預金	100,000,000	0	0	100,000,000
定期預金	17,345,500	17,345,500	17,345,500	17,345,500
投資有価証券	50,000,000	0	0	50,000,000
小計	264,829,459	88,400,500	87,345,500	265,884,459
合計	2,043,829,459	885,430,598	884,375,598	2,044,884,459

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
普通預金	0	0	(0)	—
定期預金	259,345,594	(259,345,594)	(0)	—
投資有価証券	1,519,654,406	(1,519,654,406)	(0)	—
小計	1,779,000,000	(1,779,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	7,042,000	—	—	(7,042,000)
減価償却引当資産	91,496,959	(0)	(91,496,959)	—
施設補修積立資産	167,345,500	(0)	(167,345,500)	—
小計	265,884,459	(0)	(258,842,459)	(7,042,000)
合計	2,044,884,459	(1,779,000,000)	(258,842,459)	(7,042,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物付属設備	6,957,963	2,999,780	3,958,183
構築物	1,121,557	461,570	659,987
車両運搬具	10,919,365	10,632,444	286,921
什器備品	45,843,082	36,898,750	8,944,332
ソフトウェア	3,856,100	3,612,033	244,067
合計	68,698,067	54,604,577	14,093,490

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産			
長期国債(332)	99,603,493	100,089,614	486,121
長期国債(334)	244,806,245	246,144,460	1,338,215
超長期国債(148)	199,151,572	218,841,010	19,689,438
超長期国債(151)	98,644,486	103,504,293	4,859,807
超長期国債(10)	78,102,452	84,095,500	5,993,048
H29仙台市第1回	100,000,000	96,200,000	△ 3,800,000
宮城県債(31-1)	50,000,000	50,585,000	585,000
宮城県債(35-2)	100,000,000	99,980,000	△ 20,000
兵庫県債(5)	100,000,000	102,170,000	2,170,000
札幌市債(26-5)	100,000,000	103,960,000	3,960,000
共同地方債(223)	150,000,000	145,410,000	△ 4,590,000
大阪府債(463)	99,706,801	97,090,000	△ 2,616,801
神奈川県債(237)	99,639,357	99,200,000	△ 439,357
小計	1,519,654,406	1,547,269,877	27,615,471
特定資産			
宮城県債(32-1)	50,000,000	49,990,000	△ 10,000
小計	50,000,000	49,990,000	△ 10,000
その他の固定資産			
長期国債(332)	428,288	430,385	2,097
長期国債(334)	5,997,830	6,030,539	32,709
超長期国債(148)	1,891,488	2,078,989	187,501
超長期国債(151)	3,369,742	3,535,706	165,964
超長期国債(10)	988,638	1,064,500	75,862
小計	12,675,986	13,140,119	464,133
合計	1,582,330,392	1,610,399,996	28,069,604

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
みやぎ産業交流センター 感染症対応等交付金	宮城県	0	23,386,500	23,386,500	0	-
電気利用効率化促進 対策事業(補助金)	東北電力(株)	0	940,640	940,640	0	-

4. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記3に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	5,987,000	1,055,000	0	0	7,042,000
賞与引当金	0	4,244,256	0	0	4,244,256
貸倒引当金	0	291,037	0	0	291,037

5.財産目録

令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
	現金	手元保管	運転資金として	45,484	
	預金	普通預金		6,557,666	
		七十七銀行本店		136,364,197	
		七十七銀行本店		1,186	
		七十七銀行多賀城支店	運転資金の運用として	440	
		七十七銀行多賀城支店		29,405,517	
		仙台銀行多賀城支店		1,316,635	
	未収利息	有価証券等未収利息	運転資金として	1,954,150	
	未収金	施設利用者等 全39件	施設利用料未収額等	10,194,280	
立替金	主催事業事務局に対する立替金	全国やきものフェア事務局経費立替	420,258		
	レストランに対する立替金	レストラン電気・水道料金立替	98,904		
前払費用	事業経費前払	保険料・保守料等	1,216,010		
	未収消費税等		955,200		
流動資産合計				188,529,927	
(固定資産)					
基本財産	定期預金	七十七銀行本店		7,232,930	
		仙台銀行多賀城支店		252,112,664	
	投資有価証券	第332回長期国債		99,603,493	
		第334回長期国債		244,806,245	
		第148回超長期国債		199,151,572	
		第151回超長期利付国債		98,644,486	
		第10回超長期利付国債	寄附により受け入れた財産であり、運用益を法人会計の財源として使用している	78,102,452	
		宮城県債第31回1号		50,000,000	
		宮城県債第35回2号		100,000,000	
		兵庫県債第5回		100,000,000	
		平成26年度第5回札幌市債		100,000,000	
		仙台市平成29年度第1回公募公債		100,000,000	
	第223回共同発行市場公募地方債		150,000,000		
	第463回大阪府公募公債		99,706,801		
	神奈川県債(237)		99,639,357		
	特定資産	退職給付引当資産	決済用預金		1,055,000
			七十七銀行本店 決済用預金 七十七銀行多賀城支店	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	5,987,000
		減価償却引当資産	決済用預金 七十七銀行本店 定期預金 七十七銀行本店	施設管理運営事業の積立資産であり、備品等の取得資金として管理されている資金	21,496,959 70,000,000
	その他固定資産	施設補修積立資産	普通預金		100,000,000
仙台銀行多賀城支店 定期預金 仙台銀行多賀城支店 宮城県債第32回1号			施設管理運営事業の積立資産であり、施設の補修資金として管理されている資金	17,345,500 50,000,000	
投資有価証券		宮城県公募公債第30回1号	運用益を事業に充当するため	20,158,000	
		東京電力パワーグリッド第8回社債		99,430,000	
		第332回長期国債		428,288	
		第334回長期国債	満期保有目的で保有し、運用益を法人会計の財源として使用している	5,997,830 1,891,488	
		第148回超長期国債		3,369,742	
第151回超長期利付国債			988,638		
第10回超長期利付国債		1,680			
定期預金		資産の運用として	1,680		
建物付属設備	事務室内間仕切等		3,958,183		
構築物	西館掲示板等		659,987		
車両運搬具	乗用車等	施設管理運営事業に使用している	286,921		
什器備品	貸出用什器等		8,944,332		
ソフトウェア	顧客管理システム等		244,067		
貸倒引当金		債権の貸倒による損失に備えたもの	△ 291,037		
固定資産合計				2,190,952,578	
資産合計				2,379,482,505	
(流動負債)					
	未払金	取引先等 全57件	各事業経費期末未払額等	24,882,397	
	前受金	施設利用者等 全56件	施設利用料予納金等	51,140,759	
	預り金	職員からの預り金	社会保険料等	918,782	
	賞与引当金		職員に対する賞与支払いに備えたもの	4,244,256	
	未払法人税等			10,399,400	
流動負債合計				91,585,594	
(固定負債)					
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	7,042,000	
固定負債合計				7,042,000	
負債合計				98,627,594	
正味財産				2,280,854,911	

監査報告書

一般財団法人みやぎ産業交流センター

理事長 山口 浩徳 殿

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、当財団定款第9条の規定に基づき、本報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及びその付属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの付属明細書）について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和5年5月18日

一般財団法人みやぎ産業交流センター

監事 稲妻 敏行 

監事 大内 仁 

令和 4 年度

公益目的支出計画実施報告書

【別紙1：法人の基本情報】

法人コード	A 0 0 9 2 6 7
-------	---------------

1. 基本情報

フリガナ	イッパンザイダンハウジンミヤギサンギョウコウリュウセンター			
法人の名称	一般財団法人みやぎ産業交流センター			
主たる事務所の住所及び連絡先				
住所	郵便番号	都道府県名	市区町村丁番地等	補足住所
	983-0001	宮城県	仙台市宮城野区港3丁目1番7号	
代表電話番号	022-254-7111	内線	FAX 番号	022-254-7110
代表電子メールアドレス	info@yumemesse.or.jp			
ホームページの有無	有			
ホームページアドレス	https://www.yumemesse.or.jp/			
代表者の氏名	千葉 隆 政			
事業年度	4月1日 ~ 3月31日			
事業の概要	国際見本市その他の見本市, 展示会, 会議, イベント, 大会等の開催及び支援等に関する事業を行うことにより, 宮城県の産業振興, 地域経済の発展に寄与する。			

【別紙2：公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の概要】

1. 公益目的財産額	2,269,796,581 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(①+②-③)	568,066,750 円
① 前事業年度末日の公益目的収支差額	527,220,080 円
② 当該事業年度の公益目的支出の額	45,696,994 円
③ 当該事業年度の実施事業収入の額	4,850,324 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	1,701,729,831 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 ^注	
当該事業年度の公益目的収支差額は、下表のとおり計画を上回った。なお、公益目的支出計画の実施期間があと39年間である一方、今年度までの公益目的収支差額の計画額との差額は98,357,750円であり、今後の実施事業の規模を鑑みても、実施期間に関しては影響がないと考える。	

注：詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和44年 3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	令和 年 月 日

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	2,269,796,581 円	2,269,796,581 円	2,269,796,581 円	2,269,796,581 円	2,269,796,581 円
公益目的収支差額	422,738,100 円	527,220,080 円	469,709,000 円	568,066,750 円	516,679,900 円
公益目的支出の額	47,470,900 円	31,925,741 円	47,470,900 円	45,696,994 円	47,470,900 円
実施事業収入の額	500,000 円	829,346 円	500,000 円	4,850,324 円	500,000 円
公益目的財産残額	1,847,058,481 円	1,742,576,501 円	1,800,087,581 円	1,701,729,831 円	1,753,116,681 円

※全事業年度及び当該事業年度の計画及び実施の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 1	見本市, 展示会等の誘致, 開催, 支援事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
(1)趣旨 国際見本市その他の見本市, 展示会, 会議, イベント, 大会等の誘致, 開催及び支援等に関する事業を行うことにより, 宮城県の産業振興, 地域経済発展に寄与する。	
(2)内容 1)国際見本市その他の見本市, 展示会, 会議, イベント, 大会等の誘致・開催 [内容] 展示会産業の推進による産業振興・地域経済発展を図ることを目的に宮城県の施策に沿った各種産業見本市や展示会等を企画・運営するとともに, 見本市や展示会等を積極的に誘致している。 また, 各種イベント等の開催を通し, 地域の文化振興や交流活性化を積極的に推進している。	
2)国際見本市その他の見本市, 展示会, 会議, イベント, 大会等の開催支援 [内容] 展示会産業の推進による産業振興・地域経済発展を図ることを目的に, 宮城県の施策に沿った各種見本市や展示会について, その開催を支援している。更に(公財)仙台観光コンベンション協会と連携して展示会開催支援を行うとともに, (公財)みやぎ産業振興機構, (社)みやぎ工業会, (公財)仙台市産業振興事業団等が実施する事業に積極的に参画していく。	
3)他施設との連携による国際見本市その他の見本市, 展示会, 会議, イベント, 大会等の誘致 [内容] 様々な業界の産業振興・地域経済発展を図ることを目的に, 各種産業見本市や展示会等について, 近隣施設と連携した誘致活動を推進する。	
(3)事業実施のための財源及び人員 1)みやぎ産業交流センターの指定管理者として, 管理運営によって得られる利用料金収入及び一部の展示会での出展料を財源として事業を実施する。 2)事務局長及び事務局職員(7名)が本事業に従事する。 3)施設概要 名称:みやぎ産業交流センター 場所:仙台市宮城野区港3丁目1-7 設備:7,500平方メートルの展示場を擁する「展示棟」, 大ホール・会議室・レストランなどから成る「会議棟」, 展示棟に隣接し, 展示会の幅を広げる「屋外展示場」の3つの空間を有する。	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	26,308,000円
② // 実施事業収入の見込額	200,000円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
<p>(1)宮城県の施策に沿った各種産業見本市や展示会等を企画・運営するとともに、見本市や展示会等を積極的に誘致しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国やきものフェア in みやぎ 2022 (共催 7月14日～18日 入場者数 24,060人) ・ビジネスマッチ東北 2022 秋 (実行委員会参加 11月10日 入場者数 4,352人) 負担金：2,000,000円 (税込) <p>(2)宮城県の施策に沿った各種見本市や展示会について、その開催の支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のココロマルシェ (4月22日～24日 入場者数 8,000人) ・J Aグループ宮城 営農支援フェスタ 2022 (特別協賛 11月17日～18日 入場者数 1,570人) 開催支援金：600,000円 (税込) ・小規模国際学術会議等開催支援事業 (公財) 仙台観光国際協会と連携し、将来の大規模開催に繋がる小規模国際会議開催を支援。 支援対象：夢メッセ西館又は仙台市内のその他の施設で開催される100人未満の国際学術会議 支援件数：申請実績なし <p>(3)各種産業見本市や展示会等について、他施設と連携した誘致活動を展開しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SENDAI Communication Fair in 仙台国際センターへ出展 (2月7日) 	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	13,764,625円
② " 実施事業収入の額	1,080,324円
③ (①-②)の額	12,684,301円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	13,764,625円
⑤ " 損益計算書の収益の額	1,080,324円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^注	
公益目的支出額の実績は計画を下回り、実施事業収入額の実績は計画を上回ったが、今後の実施事業の規模を鑑みても実施期間に関しては影響がないと考える。	

注：この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継 1	見本市，展示会等の誘致，開催，支援事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し，その算定に当たっての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^注
展示会開催事業収益	1,080,324 円	1,080,324 円	共催事業に係る収益等
計	1,080,324 円	1,080,324 円	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について，必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し，その算定に当たっての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^注
その他	13,764,625 円	13,764,625 円	異なる費用科目はないため，①と②は同額である。
計	13,764,625 円	13,764,625 円	

注：①と②が同額である場合には，「科目」欄を「その他」として，まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 2	見本市、展示会等出展支援事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
(1)趣旨 国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の誘致、開催及び支援等に関する事業を行うことにより、宮城県の産業振興、地域経済発展に寄与する。	
(2)内容 1)国際見本市その他の見本市、展示会等への出展支援 [内容] 様々な業界の産業振興・地域経済発展を図ることを目的に、各種産業見本市や展示会等へ出展する事業者を支援し、展示会等が開催されやすい環境を作り、展示会利用者層の拡大を図っている。	
(3)事業実施のための財源及び人員 1)みやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入を財源として事業を実施する。 2)事務局長及び事務局職員(7名)が本事業に従事する。 3)施設概要 名称：みやぎ産業交流センター 場所：仙台市宮城野区港3丁目1-7 設備：7,500平方メートルの展示場を擁する「展示棟」、大ホール・会議室・レストランなどから成る「会議棟」、展示棟に隣接し、展示会の幅を広げる「屋外展示場」の3つの空間を有する。	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	1, 3 3 4, 0 0 0 円
② // 実施事業収入の見込額	0 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
(1)国際見本市その他の見本市、展示会等への出展支援事業 様々な業界の産業振興・地域経済発展を図ることを目的に、各種産業見本市や展示会等へ出展する事業者を支援し、展示会等が開催されやすい環境を作り、展示会利用者層の拡大を図りました。 ・支援対象：宮城県の実施する「優れ MONO 認定事業」の認定を受けた工業製品 ・支援件数：3 件 ・支援総額：440,460 円（税込） ・みやぎ優れ MONO 発信事業実行委員会負担金：700,000 円（税込）	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	1, 0 3 6, 7 8 3 円
② // 実施事業収入の額	0 円
③ (①-②)の額	1, 0 3 6, 7 8 3 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	1, 0 3 6, 7 8 3 円
⑤ // 損益計算書の収益の額	0 円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^注	
公益目的支出額の実績は計画を下回ったが、今後の実施事業の規模を鑑みても実施期間に関しては影響がないと考える。	

注：この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継 2	見本市，展示会等出展支援事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し，その算定に当たっての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^注
その他	0円	0円	
計	0円	0円	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について，必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し，その算定に当たっての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^注
その他	1,036,783円	1,036,783円	異なる費用科目はないため，①と②は同額である。
計	1,036,783円	1,036,783円	

注：①と②が同額である場合には，「科目」欄を「その他」として，まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

（事業単位ごとに作成してください。）

事業番号	事業の内容
継 3	展示会活用推進事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
<p>(1)趣旨</p> <p>展示会産業の地域経済、産業に及ぼす波及効果は大きなことから、講演会、展示会活用セミナー等の開催により啓発、周知することにより、見本市、展示会への出展、活用を促進し、宮城県の産業振興、地域経済発展に寄与する。</p> <p>また、全国展示場連絡協議会、日本展示会協会等の展示会産業関連業界の全国組織に加入し、連携して様々な活用方策の検討、実施を通し展示会産業の一層の振興を図る。</p>	
<p>(2)内容</p> <p>1)見本市、展示会に関する講演会の開催</p> <p>見本市・展示会がもたらす経済波及効果の大きさ、イノベーション創出効果など、その意義や有用性を周知・啓発し、地域経済の活性化と発展を図ることを目的とし、講演会を開催するもの。</p> <p>2)展示会活用セミナーの開催</p> <p>展示会開催・出展が製品・商品等の情報発信、商談にいかにも有効かを知ってもらうためのセミナーを開催するもの。</p> <p>3)施設利用者との意見情報交換会の開催</p> <p>展示会主催者、出展者、展示会関連事業者、夢メッセみやぎの指定管理者が一堂に会することにより、異業種間に新たな連携の機会を提供するとともに、施設に対する意見提言について運営に反映させるもの。</p> <p>4)表彰事業</p> <p>見本市・展示会に関わる事業者の意欲・技術の向上を図り、地域における展示会産業の発展を目指すもの。</p> <p>5)展示会産業における全国組織との連携</p> <p>以下の団体に加盟し、展示会産業統計の国際標準化企画誘致手法の研究、グリーン電力購入などの環境に配慮したエコ展示会等の研究、推進等に連携して取り組むことにより、展示会産業の振興、持続可能な展示会の促進等を図るもの。</p> <p>〔加盟団体〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国展示場連絡協議会（全国の公的展示施設管理者の組織。会員数 48 団体 53 施設） ・日本展示会協会（主催者、展示施設、展示会支援企業からなる団体。会員数 322 社・団体） 	
<p>(3)事業実施のための財源及び人員</p> <p>1)みやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入及びセミナー・意見情報交換会の参加費を財源として事業を実施する。</p> <p>2)事務局長及び事務局職員(7名)が本事業に従事する。</p> <p>3)施設概要</p> <p>名称：みやぎ産業交流センター</p> <p>場所：仙台市宮城野区港3丁目1-7</p> <p>設備：7,500平方メートルの展示場を擁する「展示棟」、大ホール・会議室・レストランなどから成る「会議棟」、展示棟に隣接し、展示会の幅を広げる「屋外展示場」の3つの空間を有する。</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	710,000円
② // 実施事業収入の見込額	300,000円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
<p>(1)見本市・展示会に関する講演会の開催 見本市・展示会がもたらす経済波及効果の大きさ、イノベーション創出効果など、その意義や有用性を周知・啓発し、地域経済の活性化と発展を図ることを目的として、講演会を開催した。 第13回夢メッセみやぎ講演会（3月6日 参加者51人） 演題：『出展満足度を高める「展示会デザイン」5つのポイント』 講師：SUPER PENGUIN 株式会社 代表取締役 竹村 尚久 氏</p> <p>(2)施設利用者との意見情報交換会の開催 夢メッセみやぎの利用者である展示会主催者、出展者、展示会関連事業者、夢メッセみやぎの指定管理者が一堂に会し、異業種間に新たな連携の機会を提供するため、前年度に引き続き開催を検討したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度も開催を見送った。</p> <p>(3)展示会産業における全国組織との連携 前年度に引き続き下記の団体に加盟し、展示会産業の振興に努めた。 ・全国展示場連絡協議会 令和4年度総会を本県で開催（5月9日） 〔加盟団体〕 ・全国展示場連絡協議会（全国の公的展示施設管理者の組織。会員数50団体56施設） ・日本展示会協会（主催者、展示施設、展示会支援企業からなる団体。会員数322社・団体）</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	724,877円
② “ 実施事業収入の額	0円
③ (①-②)の額	724,877円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	724,877円
⑤ “ 損益計算書の収益の額	0円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^注	
公益目的支出額の実績は計画を上回り、実施事業収入額の実績は計画を下回ったが、今後の実施事業の規模を鑑みても実施期間に関しては影響がないと考える。	

注：この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継 3	展示会活用推進事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^注
その他	0円	0円	
計	0円	0円	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^注
その他	724,877円	724,877円	異なる費用科目はないため、①と②は同額である。
計	724,877円	724,877円	

注：①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 4	展示施設等効用増進事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
(1)趣旨 当財団はみやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入を財源として事業を実施するものであるが、稼働率を高め利用料の増収を図るため、利用者の利便性を高める施設設備の整備及び施設設備の安定的な稼働を確保するための整備を行うものである。	
(2)内容 利用者の利便性を高める施設設備の整備及び施設設備の安定的な稼働を確保するための整備を行う。 従来、この事業は指定管理者募集の際の提案事業として実施されてきたものであるが、この他にも随時必要に応じ財団が実施してきたものであり、すべて宮城県に寄附してきた。	
(3)事業実施のための財源及び人員 1)みやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入を財源として事業を実施する。 2)事務局長及び事務局職員(7名)が本事業に従事する。 3)施設概要 名称：みやぎ産業交流センター 場所：仙台市宮城野区港3丁目1-7 設備：7,500平方メートルの展示場を擁する「展示棟」、大ホール・会議室・レストランなどから成る「会議棟」、展示棟に隣接し、展示会の幅を広げる「屋外展示場」の3つの空間を有する。	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	600,000円
② // 実施事業収入の見込額	0円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
利用者の利便性を高め、施設を安全に安心して使用できるよう、換気能力向上のための設備の改修を行いました。 ・西館会議室（大・中・小）換気設備の改修	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	3,770,000円
② // 実施事業収入の額	3,770,000円
③ (①-②)の額	0円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	3,770,000円
⑤ // 損益計算書の収益の額	3,770,000円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^注	
新型コロナウイルス感染症対策の施設整備の一環として、速やかに整備する必要があったため当財団で設備改修を行い、県から当該経費を交付されたものであり、公益目的支出額及び実施事業収入額の実績は計画を上回ったが、今後の実施事業の規模を鑑みても実施期間に関しては影響がないと考える。	

注：この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継 4	展示施設等効用増進事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^注
その他	3,770,000円	3,770,000円	設備改修に係る補助金
計	3,770,000円	3,770,000円	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^注
その他	3,770,000円	3,770,000円	異なる費用科目はないため、①と②は同額である。
計	3,770,000円	3,770,000円	

注：①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

④〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業等会計で「共通」に区分された収益・費用について】

損益計算書の「実施事業等会計」において「共通」の会計区分を設けている場合、その収益・費用について記載してください。

「共通」の会計区分を設けていない場合は、本表の作成は不要です。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^注
	0円	0円	
計	0円	0円	

注：実施事業収入の額の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^注
その他	26,400,709円	26,400,709円	異なる費用科目はないため、①と②は同額である。
計	26,400,709円	26,400,709円	

注：①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

別表 A〔公益目的支出計画実施報告書〕

【公益目的支出計画実施期間中の収支の見込について】

(1) その他の主要な事業について

変更の内容及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注1}
特に変更なし。

注1：その他の主要な事業として、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」に記載した事業のうち、その事業の内容や実施方法に変更があった場合に、事業番号・変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。また、新たにその他の主要な事業を開始した場合は、その旨、当該事業の概要及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。

(2) 資産の取得や処分、借入について

実施内容（計画の変更内容）及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注2}
特に変更なし。

注2：「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載した多額の借入れや施設の更新、高額財産の取得・処分等の活動を実施した場合は、公益目的支出計画に与えた影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもののうち、計画内容に変更があった場合に、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもの以外で、法人全体の財務に大きな影響を与える活動を新たに予定する場合は、その内容、理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般財団法人みやぎ産業交流センター

理事長 山口 浩 徳 殿

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度事業における公益目的支出計画実施報告書について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第2項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第1項（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第199条において準用する同法第124条第1項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律施行規則第43条の規定に基づき、本報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

2 監査意見

当法人の公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示していると認めます。

令和5年5月18日

一般財団法人みやぎ産業交流センター

監事 稲妻 敏行 

監事 大内 仁 

令和5年度 事業計画書

令和5年度事業計画

I 基本方針

新型コロナウイルス感染症については、第8波にわたる断続的な感染拡大を経て、令和5年5月から、感染症法上の位置づけが第5類に移行されることが決定され、今後、基本的な感染防止対策に留意しながら、平時の社会経済活動に戻ることができるよう、社会全体として着実に歩みが進められています。

一方において、夢メッセみやぎの施設利用状況は、徐々に上向いていますが、大規模催事の開催はコロナ禍前の状況までの回復には至らず、大変厳しい経営状況が続いています。

このような状況のもと、令和5年度は、財団設立の趣旨・目的の実現に向けて、安定した運営への回復を目指すとともに、引き続き利用者サービスの向上、情報発信力の強化、業務の効率化・高度化に取り組みながら、次の3つの基本方針に沿って事業を展開していきます。

なお、令和5年度は、令和6年度以降の夢メッセみやぎの指定管理者の公募が予定されており、引き続き指定管理者に選定されるよう最大限努力します。

- 1 地域経済への波及効果が大きい各種展示会や見本市、イベント、会議等の開催・誘致を積極的に進めるとともに、展示会等の開催・出展支援や展示会等の活用促進等の事業を展開し、宮城県の産業振興と地域経済の発展に貢献する。
- 2 これまでに培った管理運営ノウハウを十分に活かしながら、今後さらに多様化するニーズに対応できるよう施設設備の更なる充実に務め、一層の利用者サービスの向上と安全安心の確保を図るとともに、経済・産業団体やコンベンション関係団体との情報交換・連携、広報・宣伝活動を能動的に展開し、一層の施設利用の促進と経営の安定化を図る。
- 3 「仙台港周辺賑わい創出コンソーシアム」及び「仙台港エリア振興会」の活動に積極的に参画し、大型集客施設等との連携によるエリア全体の魅力発信に努め、仙台港周辺の賑わい創出と活気あふれるまちづくりに取り組む。

II 実施事業の概要

1 展示会等の開催，支援，誘致

(1) 展示会等の開催事業

経済波及効果が大きく地域産業の振興に資する展示会，イベント等を主催・共催する。

- ① 全国やきものフェア in みやぎ（7月）
- ② みやぎ元気まつり（8月）
- ③ ビジネスマッチ東北（11月）

(2) 展示会等の開催支援事業

県内の経済・産業等の関係団体と連携し，産業振興等の趣旨に沿った各種見本市や展示会等の開催を支援する。

- ① 花と緑のココロ博
- ② J Aグループ担い手営農復旧支援フェスタ
- ③ 小規模国際学術会議等開催支援事業

※（公財）仙台観光国際協会と連携し，将来の大規模開催につながる小規模国際学術会議の開催を支援

(3) 展示会等の誘致活動事業

広く情報収集を行い，個別案件へのアプローチを強化するとともに，様々な媒体・機会を活用して，夢メッセみやぎについての情報発信を行いながら，PR活動，県内や隣県の施設との連携を視野に入れた展示会等の誘致活動を展開する。

- ① 夢メッセみやぎでの開催が有望な展示会等の主催者・代理店等への積極的な働きかけ
- ② 南東北3県の展示施設の連携による情報収集や誘致活動
- ③ 仙台市内のコンベンション関係施設の連携による情報収集や誘致活動

2 展示会等出展支援事業

地域の産業振興・経済発展につながることを目的に，産業見本市や展示会等へ出展する事業者を支援し，展示会等が開催されやすい環境をつくり，展示会利用者の拡大を図る。

○「みやぎ優れ MONO」認定製品の出展助成

みやぎ優れ MONO 発信事業実行委員会が認定する「みやぎ優れ MONO」製品の展示会等への出展料等を助成する。

3 展示会活用促進事業

企業活動の活発化や地域経済の活性化につなげるため，展示会等活用事例セミナー等を開催するほか，展示場関連全国組織が実施する事業に参加し，情報収集に努める。

- ① 展示会等の活用に関する講演会・セミナー等の開催
- ② M I C E 関連見本市等を通じた情報収集
- ③ 全国展示場連絡協議会，日本展示会協会関連事業への参加

4 展示施設等効用増進事業

夢メッセみやぎの指定管理者として，利用者の安全と利便性・快適性の向上を図り，より多くの利用を促進するため，必要に応じて施設・設備等を整備する。

Ⅲ その他事業の概要

1 展示施設等管理運営事業

(1) 夢メッセみやぎ管理運営事業

令和5年度は、平成31年度を初年度とする指定管理期間の最終年度となるが、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、適切に基本的な感染防止対策を実施し、引き続き、安心・安全な運営、利用者サービスの向上及び一層の利用促進に努める。

(2) 広報・宣伝等事業

夢メッセみやぎの施設・機能の優位性について、積極的な広報・宣伝活動を展開し、利用促進につなげる。

- ① ホームページや様々な媒体を通じた施設の情報・魅力等の発信力の強化
- ② 機関紙「夢メッセみやぎ発」の発行及びWebによるイベント情報の発信
- ③ 比較的利用の少ない時期（平日、閑散期）をターゲットにした誘致

(3) 地域との連携事業

「仙台港エリア振興会」の事務局として、多彩な施設・機能を有するエリア内の魅力を発信するための地域連携事業に取り組む。また、官民組織である「仙台港周辺賑わい創出コンソーシアム」に参画し、共同イベントの開催やインバウンド受入など仙台港周辺地域の賑わい創出と活気あふれるまちづくりに取り組む。

令和5年度 予算書

令和5年度 正味財産増減予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	R05予算	R04予算	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	10,438,000	11,060,000	△ 622,000
基本財産運用益	10,438,000	11,060,000	△ 622,000
基本財産受取利息	0	0	0
②特定資産運用益	35,000	136,000	△ 101,000
特定資産運用益	35,000	136,000	△ 101,000
特定資産受取利息	0	0	0
③事業収益	382,590,000	387,899,000	△ 5,309,000
施設利用料収益	380,000,000	385,809,000	△ 5,809,000
展示会開催事業収益	100,000	100,000	0
その他の事業収益	250,000	250,000	0
自販機等利用料収益	2,240,000	1,740,000	500,000
④受取補助金等	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0
受取民間補助金	0	0	0
⑤雑収益	2,793,000	2,720,000	73,000
有価証券運用益	920,000	920,000	0
雑収益	1,873,000	1,800,000	73,000
経常収益計	395,856,000	401,815,000	△ 5,959,000
(2) 経常費用			
①事業費	408,002,000	386,688,000	21,314,000
展示会開催費	18,069,000	17,948,000	121,000
展示会開催支援費	3,365,000	2,465,000	900,000
展示会出展助成費	1,637,000	1,237,000	400,000
委託管理費	102,999,000	102,999,000	0
維持管理費	39,784,000	40,458,000	△ 674,000
施設補修費	4,800,000	3,500,000	1,300,000
水道光熱費	80,000,000	60,000,000	20,000,000
備品購入費	100,000	200,000	△ 100,000
管理運営消耗品費	2,050,000	2,170,000	△ 120,000
行政財産目的外使用料	1,911,000	1,910,000	1,000
納付金	51,852,000	51,852,000	0
固定資産等寄附額	0	0	0
減価償却費	4,500,000	5,000,000	△ 500,000
広告宣伝費	2,990,000	3,507,000	△ 517,000
役員報酬	6,549,000	6,493,000	56,000
給料手当	51,017,000	49,358,000	1,659,000
法定福利費	9,918,000	9,479,000	439,000
退職金掛金	2,112,000	2,200,000	△ 88,000
退職給付費用	1,000,000	1,000,000	0
福利厚生費	1,561,000	2,387,000	△ 826,000
諸謝金	250,000	200,000	50,000
会議費	88,000	30,000	58,000
旅費交通費	385,000	500,000	△ 115,000
通信運搬費	1,843,000	2,044,000	△ 201,000
新聞図書費	78,000	164,000	△ 86,000
印刷費	470,000	480,000	△ 10,000
関係団体諸会費	368,000	368,000	0
寄附金	0	200,000	△ 200,000
交際費	100,000	550,000	△ 450,000
修繕費	840,000	770,000	70,000
事務用消耗品費	937,000	1,140,000	△ 203,000
使用料及び賃借料	1,856,000	2,843,000	△ 987,000

科目	R05予算	R04予算	増減額
保険料	121,000	199,000	△ 78,000
租税公課	326,000	380,000	△ 54,000
委託費	2,860,000	1,270,000	1,590,000
支払手数料	64,000	100,000	△ 36,000
負担金	100,000	225,000	△ 125,000
研修費	100,000	100,000	0
保守料	674,000	624,000	50,000
雑費	0	10,000	△ 10,000
事業所税	10,328,000	10,328,000	0
②管理費	13,978,000	14,450,000	△ 472,000
役員報酬	7,723,000	7,723,000	0
給料手当	2,503,000	2,474,000	29,000
法定福利費	1,580,000	1,600,000	△ 20,000
福利厚生費	0	35,000	△ 35,000
会議費	180,000	180,000	0
旅費交通費	215,000	100,000	115,000
通信運搬費	1,000	1,000	0
新聞図書費	6,000	6,000	0
印刷費	0	60,000	△ 60,000
関係団体諸会費	307,000	315,000	△ 8,000
交際費	0	0	0
事務用消耗品費	0	5,000	△ 5,000
使用料及び賃借料	33,000	30,000	3,000
租税公課	15,000	15,000	0
委託費	340,000	340,000	0
支払手数料	5,000	5,000	0
負担金	25,000	55,000	△ 30,000
研修費	100,000	300,000	△ 200,000
投資有価証券償却	945,000	1,206,000	△ 261,000
経常費用計	421,980,000	401,138,000	20,842,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 26,124,000	677,000	△ 26,801,000
投資有価証券評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 26,124,000	677,000	△ 26,801,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 26,124,000	677,000	△ 26,801,000
法人税・住民税及び事業税	72,000	200,000	△ 128,000
当期一般正味財産増減額	△ 26,196,000	477,000	△ 26,673,000
一般正味財産期首残高	503,471,569	578,378,932	△ 74,907,363
一般正味財産期末残高	477,275,569	578,855,932	△ 101,580,363
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,779,000,000	1,779,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,779,000,000	1,779,000,000	0
III 正味財産期末残高	2,256,275,569	2,357,855,932	△ 101,580,363